

## 環境コミュニケーション

### 出前授業による環境教育の展開

JR東日本では、持続可能な社会づくりに貢献するため、次代を担う子どもたちに対し、「環境問題」や「社会とのつながり」を理解してもらうための環境教育プログラムを2009年度からスタートしました。同プログラムは鉄道を題材に環境や暮らしについて理解してもらうプログラムで、2012年度は、東京都や埼玉県の小学校を中心に6校実施しました。引き続き取り組みを進めていく予定です。



さいたま市の小学校で出前授業を実施

### 鉄道博物館にて環境講座を実施

鉄道博物館において、小学生を対象とした、「環境にやさしい鉄道講座」を開設しました。地球が抱える環境問題を鉄道を通じて学ぶとともに、駅や車内のゴミの分別体験によりリサイクルの大切さを学んでいただきました。



鉄道博物館で実施した「環境にやさしい鉄道講座」

### 他企業と連携した環境イベントを開催

当社の環境の取り組みを分かりやすく説明し、お客さまと直接コミュニケーションを図ることを目的として、東京ガス(株)と「東京ガスとJR東日本の環境への取り組み展 第10回ガス&レールウェイ〜『スマエネ』と『エコステ』から見る未来の暮らし〜」を、「中央線四ツ谷駅」にて共催しました。

当日は、「ガス」と「鉄道」の環境にやさしいポイントや省エネルギーの取り組みを紹介したほか、環境について楽しく学べる参加体験型イベントや模型展示等も行いました。

### 環境と社会に対する取り組みを伝える広報

JR東日本における環境と社会に対する取り組みを正確かつわかりやすく伝えることを目的として、「環境報告書(2002年から「社会環境報告書」)」を1996年から継続して発行しています(2013年からは「CSR報告書」に変更)。

また、雑誌やテレビCMなど、メディアを通じた情報発信や、ホームページ、ポスター、パンフレットによる環境に関する取り組みの紹介なども行っています。



企業広告ポスター  
「エコステ」  
(テレビCMも放映)



企業広告ポスター  
「スマートグリッド技術」  
(テレビCMも放映)



「エコステ」モデル駅パンフレット

### エコツーリズム

観光を通じて、日本の自然や文化への愛着を深めていく「エコツーリズム」。首都圏で開催した世界遺産の白神山地の魅力をお伝えする「白神山地出前講座」では約350名、現地で開催している「ブナの学校」ツアーには約40名、白神山地を巡るトレッキング商品には約450名の参加がありました。また、2013年は白神山地が世界自然遺産に登録され20周年となり、「大人の休日倶楽部」とタイアップした白神山地への新規商品の設定を行うほか、「白神山地出前講座」を20周年記念として大規模に実施する予定です。

また、各地の駅を拠点にし、地域の魅力あるスポットをウォーキングで巡って楽しんでいただく「駅からハイキング」も継続して実施し、2012年度は674コースを設定、約23万名の方にご参加いただきました。



ブナ林の中に真っ青な水をたたえる青池



ニツ森での植樹体験



地域の魅力を歩いて巡る「駅からハイキング」